

2024年11月

No.24-096a(全)

## 「不規則性抗体」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、不規則性抗体検査につきましてスクリーニング検査のみ自検化を実施する運びとなりました。検査の順序といたしまして、スクリーニング検査を実施し抗体の存在が認められなければ同定検査を行わず(一)での報告となります。抗体の存在が認められる、又は疑われる場合は今までと同様に外部委託先での同定検査を実施しご報告いたします。

今回、当該検査を自検化するにあたり検査内容を一部変更させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

頁	項目コード*	検査項目	変更箇所	新	現
144	3786	不規則性抗体	所要日数	1～5日	3～5日
			検査方法	固相法(キャプチャー法)	カラム凝集法(ケムス法、酵素法)
			検査場所	キューリン本社ラボ※	LSI メディエンス(→1)
			検査報告書	常用報告書	特殊報告書

※ スクリーニング検査(一)の場合のみ。

スクリーニング検査にて(一)以外の場合は同定検査となりますので変更はありません。

連休前等は同定検査外部委託の関係上、スクリーニング検査も外部委託となり変更はございません。

検査報告書に関しましてはスクリーニング検査(一)以外の場合は従来と同様一旦、常用報告書にて「後日別紙」で報告させて頂き後日特殊報告書と、陽性の場合は別紙報告書での結果報告となります。

#### ■変更期日

●2024年11月11日(月)受付分より

以上